



JTUC-aomori

No.410 2024年3月

れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 中野 隼 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

連合青森2024春季生活闘争総決起集会



昨年を上回る、 持続的賃上げ実現を！

連合青森は3月4日(土)11時より、青森市の青い海公園で、「2024年春季生活闘争総決起集会」を開催し、構成組織の組合員550名が結集し、「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」をスローガンに掲げ、「賃上げ」や「雇用形態間格差の是正」等の実現に向け、氣勢を上げた。

主催者あいさつに立った塩谷進会長は「経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージを変える正念場。その最大のカギは社会全体で問題意識を共有することにある」とまず述べ、「これまでになく政労使とも賃上げが必要との機運が高まっている今春闘、人への投資を中心とした賃上げを実現し、実質賃金の減少をストップさせ、人財確保、経済の活性化を図らなければならない」と士気を高めた。

この後友好政党・団体から立憲民主党県連田名部匡代代表、国民民主党県連金濱亨副代表、県民社協会大澤祥宏会長が各々の立場から激励のあいさつを述べた。

続いて連合青森中野隼事務局長から情勢報告と、①賃上げ率6.0%以上、額14,700円以上、②雇用形態間格差の是正、③ジェンダー平等・多様性の推進などすべての労働者の立場にたった働き方の見直し、④2月末までの要求書提出、等とする要求目標を説明した。

次に、全水道青森県支部七尾和哉副委員長、情報労連青森県協議会工藤悠我事務局長、連合青森三八地協中村一明議長が決意表明を行った。

集会最後、「すべての働く仲間へ持続的な賃上げの流れを波及させる」とするアピールを採択し、塩谷会長の団結ガンバローで集会を締めくくった。

また、集会後予定していたデモ行進は、最大瞬間風速13



七尾副委員長
(全水道)



工藤事務局長
(情報労連)



中村議長
(三八地協)

mとなった突風のため、組合員の安全面に配慮し急遽中止となった。

集会前段で行われたプラカードコンテストの順位は以下の通り。

- 第1位：J P 労組、第2位：電力総連、第3位：自治労



第1位「J P 労組」作品



各地協での討論集会・決起集会



上十三地協（2月3日）



下北地協（2月9日）



津軽地協（2月15日）



西北五地協（2月16日）



三八地協（2月26日）

**みんなで賃上げ。
ステージを変えよう!**

ワークルール検定 2024・春(初級)

<後援>厚生労働省
日本生産性本部



2024年6月8日(土)～6月16日(日)

- 会場：青森県内テストセンター
日時・会場は受検者各自、申込の際に選択してください。
- 募集人員：60名
- 募集期間：2024年4月9日(火)まで ※連合青森組織内締切

～職場で役立つ法律知識を身につけられます!～

※申込み・詳細は連合青森(017-735-0551)またはウェブサイト(<http://workrule-kentei.jp>)へ

一般社団法人日本ワークルール検定協会



2024春季生活闘争に向け青年・女性組合員の意識高揚を図る！

連合青森2024青年・女性ファイティングフォーラム

連合青森青年委員会、女性委員会は2月17日(土)13時30分から県労働福祉会館をホスト会場、各地協をサテライト会場とし「2024青年・女性ファイティングフォーラム」を開催し、84名の参加者とともに2024春季生活闘争に向けた意識高揚を図った。

今回のフォーラムでは「若年層組合員に本春季生活闘争に立ち向かう各組織執行部の『応援団』となって欲しい」との思いを込めて、連合青森中野隼事務局長、上平裕貴副事務局長より「2024春季生活闘争のポイント」「春季生活闘争の歴史」について熱い講演が行われた。

グループワークでは「私たちが『創る』政策」と題して、若年層の皆が真に求めている政策について立案。その際、来賓として参加いただいた立憲民主党青森県連総支部連合会第1区総支部長「升田世喜男」氏、第3区総支部長「岡田華子」氏、国民民主党青森県総支部連合会副代表「金濱亨」氏の3名との意見交換も行われた。

続いて連合青森武部千賀子副事務局長が「ジェンダー平等について」と題し提起を行った。連合における運動方針や、世界との比較状況等を説明した上で、女性委員会の目的や活動を紹介。改めて、ジェンダー平等の取り組みの重要性とより積極的な参画について参加者へ理解を求めた。

主催者である米田裕哉委員長、佐藤陽子代表委員からは2024春季生活闘争を取り巻く環境、そして「春闘は交渉にあたる組織執行部だけのものではなく、すべての組合員、労働者に関わるもの」「本



グループワークの様子



地協サテライト会場

日のファイティングフォーラムで得た学びをそれぞれの組織へ持ち帰り展開してほしい」と力強い挨拶が述べられた。

青年委員会、女性委員会は目的の異なる組織ではあるが、共通する課題も多くあることから、今後も様々な場面で連携を強化していきたい。

<グループワークで出された意見(抜粋)>

- ・「健康優良者所得控除」の新設
- ・消費税5パーセントへ減税
- ・人への投資：デジタル人材の育成
- ・生活残業する必要がない水準の賃上げ
- ・女性が活躍出来る環境の整備
- ・教職員の採用増加
- ・企業の法人税引き下げ
- ・資格取得支援の実施

連合・教育文化協会共催 第21回

「私の提言」募集

書くことを軸とする安心社会・まもる・つなぐ・創り出すの実現に向けて連合・労働組合が参画し取り組むべきこと(オリジナルで未発表のものに限る)

募集テーマ

表彰

優秀賞	佳作賞	奨励賞	学生特別賞
1名	若干名	若干名	1名
表彰盾と副賞	賞状と副賞	賞状と副賞	賞状と副賞
20万円	10万円	3万円	12万円
※応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者および審査対象外となった方を除く)。			
※発表 2024年9月20日(金)			

応募資格

どなたでも応募いただけます Webサイトの応募フォームから応募

応募方法

応募・お問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会
E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp
電話 03-5295-5421

詳しくは [教育文化協会 私の提言](#) 検索

応募締切 2024年7月22日(月)

はたらくのそばで、
ともに歩む

地場交渉結果を地域に波及し『県内の底上げ』を！

2024地場労組交流の集い

連合青森地場労組対策委員会（関保委員長）は2月16日（金）、青森市の辰巳館にて「今年もガンバル！2024地場労組交流の集い」を開催し、地場労組対策委員や地場組合員ら28名が参加し、2024春季生活闘争の勝利と団結を誓った。

地場労組対策委員会赤間義典事務局次長は「交渉は一手段。他の組織の手法を参考にし、今後に活かしてほしい」と挨拶した。

山内裕幸会長代行は「物価高騰の今、賃金も同様に上がらなければ生活水準は守れない。他の組織の要求状況も参考にし、要求書を提出、交渉し、物価上昇分以上の良い結果に導く。そしてその結果を地域の生活者、未組織の方へ波及させるといふ強い意気込みで取り組んでほしい」と激励した。

小笠原裕介執行委員長は「続いて『春季生活闘争にあたって～交渉の現場から』と題し、青森ダイハツモーターズ労組・小笠原裕介執行委員長と三八五ロジステックス労組・中村一明執行委員長、オールマエダユニオン・新川優顧問から各

組織での交渉手段などについて講演いただいた。

第2部の分散会に移り、3つの班に分かれ要求書の進捗状況や付帯要求内容、各組合が抱える問題など意見交換が行われた。

3班とも共通課題にあった人手不足について「売り手市場の今、転職が気軽なものとなっている。また同業種・グループ企業間で人材の取り合いも起きている。辞めていく理由として賃金・やりがい・専門性もあるが何か抑止策はないものか」や、賃上げの原資となる価格転嫁については「企業が値上げで買い控えを恐れる弱気姿勢のため、価格転嫁は進まない現状にある」や「具体的に意識を変えるためどうすべきか。企業側だけでなく消費者にも意識づけが必要ではないか」など多くの意見が出された。



中村一明
執行委員長



新川優
顧問



分散会の様子

2024年3月行動予定 3月10日現在

- 3月12日（火）13時30分 ホテル青森
「2024春季生活闘争労使交渉懇談会」
- 3月13日（水）9時30分 県庁・青森労働局
「雇用の維持と安定化要請」
- 3月13日（水）10時30分 青森労働局
「2024労働局行政に関する要請」
- 3月18日（月）13時30分 県労働福祉会館
「第95回メーデー第1回実行委員会」
- 3月19日（火）10時 県労働福祉会館
「第5回事務局会議」
- 3月19日（火）14時 県労働福祉会館
「第3回戦術会議」
- 3月19日（火）上記終了後 県労働福祉会館
「第4回四役会議」

- 3月29日（金）10時30分 県労働福祉会館
「第1回共通政策部会」
- 3月29日（金）13時30分 県労働福祉会館
「第3回闘争委員会」
- 3月29日（金）上記終了後 県労働福祉会館
「第4回執行委員会」
- 3月29日（金）上記終了後 県労働福祉会館
「第1回農林漁業政策部会」

2024年4月行動予定

- 4月1日（月）10時30分 県労働福祉会館
「第1回資源・エネルギー政策部会」
- 4月1日（月）13時30分 県労働福祉会館
「第1回組織拡大委員会」
- 4月1日（月）14時45分 県労働福祉会館
「第1回公共交通政策部会」

意識と行動の変容でジェンダー平等社会実現を！

連合青森女性委員会『3.8国際女性デー』街頭行動

連合青森女性委員会と青年委員会は3月2日(土)14時より、青森市のさくら野百貨店前で『3.8国際女性デー』をテーマとした街頭行動を行った。

世界経済フォーラム発表の国際的男女間格差を示すジェンダーギャップ指数2023で日本は146か国中125位(前年116位)と諸外国に比べ低水準に位置し、主要先進国(G7)では最下位となっている。分野別でみると「教育」は昨年よりかなり順位を落とし47位(同1位)、「経済」123位(同121位)、「政治」138位(同139位)となっている。

両委員会幹事がマイクを握り、リレートークで行われた街頭行動では「労働力人口の減少に伴い、女性の労働力がなくてはならない存在であるにもかかわらず、その理解や処遇は決して平等と云えない現状にある。ジェンダー平等の達成には様々な制度を整えるだけでなく、人々の意識と行動の変容が求められている。歩みをこれ以上後退させないため、あらゆる活動にジェンダー平等の視点を取り入れ、私たちと一緒に、声をあげていこう」と道行く市民に呼びかけた。



女性委員会佐藤陽子代表委員⑤
青年委員会高谷宏慈事務局長



田名部匡代参議院議員も
応援弁士として参加



バラを模ったキャンディを手渡す
青年委員会附田浩基副委員長

～ STOP雇用不安！みんなの力で職場を改善しませんか？～

連合全国一斉集中労働相談ホットライン

連合は労働契約の更新時期を迎える年度末を前に全国一斉集中労働相談ホットラインを開設した。連合青森も「～STOP雇用不安！みんなの力で職場を改善しませんか？～」と題し、2月6日(火)と7日(水)の2日間実施した。

また、この相談ホットラインの周知に向け、前日の2月5日(月)11時30分から青森市のさくら野百貨店前にて街頭行動を行った。

相談件数は全国で558件(内LINE相談139件)にのぼり、連合青森には2件寄せられた。内容は「賃金未払い」「退職後の手続きの遅延」が各1件、性別は男女各1件、雇用形態は正社員2件となった。
＜連合青森への相談事例(抜粋)＞

◆社員送迎バス運転手。1日10時間以上勤務して



ひとりで悩まず相談を。
と呼びかける塩谷会長

いるが残業代がついていなく監督署へ相談。監督署が会社へ聞き取り。「資格手当が固定残業代のことで、手当範囲内での残業(月○時間)となっている」と回答があった。また有給休暇取得も拒否される。未払い賃金の支払いは求めている。会社は辞めたくない。

(男性・正社員・製造業)

2024 連合青森アクション

『物価高騰に負けない賃上げをめざそう!!』キャラバン

昨年の春闘賃上げは、実に30年ぶりの高水準を達成したものの、急激な物価上昇に賃金は追い付かず、実質賃金はマイナスとなった。



2024春闘は、長期にわたるデフレ経済により定着した「安いニッポン」という考え方や取引慣行を変えることによって、経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換を図る正念場の年と位置付け、連合青森は『物価高騰に負けない賃上げをめざそう!!』と題し、県内キャラバンを展開。

各地域で街頭行動・流し街宣を行い、賃上げの社会的波及を訴えた。



津軽地協 (2月6日)



西北五地協 (2月10日)



上十三地協 (2月12日)



下北地協 (2月14日)



三八地協 (2月19・20日)



連合青森 (2月22日)

連合青森は2024春季生活闘争において**率6%以上・額14,700円以上**とした賃上げ目標を掲げている。すべての労働者が賃上げを実感できるよう、皆でがんばりましょう。

《東北ろうきん》キャンペーン等のご案内

2024年3月1日～2024年7月31日
新NISAスタートキャンペーン

2024年3月1日～2025年2月28日
生活応援プラン
フレッシューズ応援プラン
学生応援プラン

2024年4月リニューアル!

おかげさまで70周年

住みいる共済

火災共済・自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

お見積もりやご相談はこくみん共済 coop まで!
 お気軽にどうぞ!

こくみん共済 coop 青森推進本部 (青森県労働者共済生活協同組合)

連合青森ホームページ
<http://aomori.jtuc-rengo.jp/>



連合青森facebook

